

一般社団法人日本音響家協会北陸支部 第14回定時支部社員総会 議事録

一般社団法人日本音響家協会北陸支部は、2020年5月14(木)13時20分～14時50分、石川県津幡町文化会館「シグナス」にて、第14回支部定時社員総会を開催した。

今回は新型コロナウイルス感染非常事態宣言中での開催であり、感染拡大防止を図るため支部総会議案書を支部会員全員に事前郵送して意見を収集するとともに、急きょ総会規模を大幅に縮小し、山本・鷹栖・山崎の3名での開催とした。

尚、今回の総会が支部正会員総数37名、出席者3名、委任34名で定足数を超える議決権数がありこの支部総会が成立していることを確認し議案審議に入った。

第1号議案 2019年度事業報告

【1】第13回定時支部社員総会

日時：2019年5月15日(水) 総会 12:00～12:40

場所：金沢市民芸術村 研修室1

参加：出席 13名、委任出席 14名、(支部会員総数 38名)

概要：前年度活動報告と決算報告ならびに今年度事業計画と収支予算がそれぞれ承認された。

【2】第1回音響セミナー

「小ライブ音響のSRテクニック&小型スピーカーの聴き比べ」

日時：2019年5月15日(水) 13:30～16:30

場所：金沢市民芸術村 パフォーミングスクエア

講師：奥山 竜太氏

参加：37名(会員：16名 一般：10名 講師：1名 業者：7名 バンド：3名)

概要：YAMAHA、ヒビノ、BOSE、WRAPSOUN 4社より最新の小型スピーカーを提供して頂き、バンド生演奏のSRテクニックと各メーカーの拡声音の聞き比べを行った。また、セミナー終了後講師を囲み16名で会員交流会を開催した。

【3】会員交流会「暑気払い」の開催

毎年恒例となっている北陸支部会員交流会「暑気払い」を2019年8月20日(火)19時から開催した。小音響かわらばんや案内はがきを支部会員に送付して参加者を募り8名が参加した。

【4】第2回音響セミナー「ジャズ音響研究会・北陸版」(本部主催・北陸支部主管)

日時：12月5日(木) 13:30～16:00

場所：金沢市民芸術村 パフォーミングスクエア

講師：4名(八板 賢二郎、塩田 哲嗣、浅原 勇治、新谷 美樹夫)

参加：35名(会員 24名、一般 11名)

概要：奏者側から見た音創りへの思いと音響担当側から見た音創り思いの違いについて知見を深めた。セミナー終了後交流会を開催、講師を含め21名の参加があった。

【5】第3回音響セミナー「最近の新築ホールの建築音響と舞台音響の施行例」

日時：2020年2月3日(月) 13:30～17:00

場所：福井県坂井市みくに未来ホール

講師：4名 北陸支部運営委員・・・・・・西畠 理

浪花千葉音響計画(有)・・・・・・浪花 克治、千葉 朝子

ヤマハサウンドシステム(株)・・川嶋 洋次郎

参加：18名(会員 11名、一般 7名)

概要：みくに未来ホールの建築経緯や施設概要、舞台音響・映像機器構成について説明があり、その後ホール建築音響設計目標や達成の為の工夫点を他ホールの事例紹介も含めて講義を受けた。また、セミナー終了後、交流会を開催、講師を含め12名の参加があった。

【6】会員情報紙「小音響かわらばん」発行

(1) 2019年度は5月・8月・10月・12月・3月に発行した。(毎号190部の発行で内、電子メールによる配信80部) した。

(2) オタリテック株式会社、株式会社エムアンドエヌ、浪花千葉音響計画有限会社、ヤマハサウンドシステム株式会社、ヒビノ株式会社、森平舞台機構株式会社の6社から広告出稿を得て広告料収入を「小音響かわらばん」発行経費に充当した。

【7】支部会員派遣事業

2020年2月5日～2月7日に幕張メッセで開催された「第7回ライブ・エンターテイメントEXPO & マイクケーブル8の字巻きグランプリ2020」へ支部から永原 涼氏を派遣、会場で展示された最新機器等の知見を深めると共に8の字巻きグランプリに参加した。

【8】会 議

(1) 運営委員会

2019年4月11日、6月20日、8月20日、10月17日、12月19日、2020年2月3日に金沢市民芸術村第1会議室他にて計6回開催した。また、運営委員会報告はSEAS公式ウェブサイトに抄録を掲載した。

第2号議案 2019年度決算報告

【1】本議案書の5頁(別表-1)決算報告書のとおり

【2】監査報告 (6・7頁掲載)

第3号議案 2020年度事業計画

【1】第1回運営委員会 **★新型コロナウイルス感染拡大対策で電磁開催に変更**

日 時 : 2020年4月15日(水) 19時30分 ~ 21時
場 所 : 金沢市民芸術村 会議室1
議 題 : 第3回音響セミナー結果報告、ライブ・エンターテイメントEXPO参加報告
第14回支部社員総会/第1回音響セミナー審議・その他

【2】第14回定時支部社員総会

日 時 : 2019年5月14日(木) 13時20分~
場 所 : 石川県 津幡町文化会館「シグナス」
議 題 : 2019年度事業報告・決算・2020年度事業計画(案)・予算(案)
令和2年度役員改選(案)

【3】2020年度特別運営委員会 **★総会規模を縮小の為、後日電磁開催とする。**

日 時 : 2019年5月14日 総会終了後
場 所 : 石川県 津幡町文化会館「シグナス」
議 題 : 令和2年度支部新役員互選について

【4】第1回音響セミナー **★新型コロナウイルス感染拡大対策対応で延期とする。**

「ワイヤレスインカム・イヤーマニターの最新状況/シグナスホール改修見学会」
日 時 : 2020年5月14日(水) 14時00分~16時30分
場 所 : 石川県 津幡町文化会館シグナス 団体控室・大ホール
講 師 : ヤマハサウンドシステム(株)、松田通商、オタリテック(株)
ヒビノアークス(株)
参 加 費 : 会員 無料、非会員 1,000円

【5】第2回音響セミナー

実施時期 : 2020年 12月中旬~下旬
場 所 : 未 定
内 容 : 未 定

【6】第3回音響セミナー

実施時期 : 2021年2月頃
場 所 : 富山県
内 容 : 未 定

【7】サウンドA&T特集記事の企画編集

日本音響家協会発行誌「サウンドA&T」2021年1月号の特集記事を北陸支部が担当となるため、企画検討等の準備をすすめる。

【8】会員情報紙「小音響かわらばん」発行

- (1) 偶数月（4月・6月・8月・10月・12月・2月）に毎号190部（内、電子メールによる配信80部）の発行をする。
- (2) オタリテック株式会社、株式会社エムアンドエヌ、浪花千葉音響計画有限会社、ヤマハサウンドシステム株式会社、ヒビノ株式会社、森平舞台機構株式会社の計6社より広告協賛を頂き発行経費に充当する。

第4号議案 2020年度予算

- 【1】本議案書の8頁（別表-2）予算案のとおり

第5号議案 新年度役員

運営委員と監査の支部役員全員が2020年度末にて任期満了のため、以下に掲げる者を新年度役員として選任し、任期を2年とする。

- (1) 運営委員（20名以内）
山本広志（重任）、西畠理（重任）、吉田正勝（重任）、山崎武志（重任）
堀裕一（重任）、高木智裕（重任）、鷹栖了（重任）、杉本慎介（重任）
山口雅照（重任）、永原諒（重任）
高野仁（新任）、永澤清一（新任）、藤井紗綾子（新任）
- (2) 監査(1名) 鹿野浩司（重任）
- (3) 支部推薦理事(1名) 山本広志（新任）
- (4) 相談役（新規） 本輝夫（新任）

以上の中で、第3号議案の(3)項で特別運営委員会を総会終了後開催する予定であったものを後日電磁開催に変更する事とした。

他、第1号議案から第5号議案まで質疑や問い合わせが支部会員からも特にありませんでしたので支部社員全員の承認が取れたものと判断した。

以上を以ってすべての議事が終了したので、第14回第北陸支部定時社員総会を終了とした。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し議長たる支部長が記名押印する。

2020年5月15日

一般社団法人日本音響家協会北陸支部長
(議事録作成者支部事務局長)

山本 広志
山崎 武志



(別表-1)

自 2019年4月1日		一般社団法人 日本音響家協会	
至 2020年3月31日		北陸支部	
2019 年度決算書			
(単位 円)			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
一般収入		一般管理費	
運営補助費	147,843	消耗品費	908
前年度繰越金	619	通信発送費	1,540
雑収入	0	旅費交通費	42,000
小計	148,462	接待交際費	0
事業収入		会議費	31,185
受講料	10,000	雑誌出版費	0
参加費	0	新聞図書費	0
寄付金・助成金	0	支払手数料	0
協賛・協力金	162,000	租税公課	0
企画制作料	0	借入金返済	
短期借入金		備品費(消耗品)	0
雑収入	21,171	雑費	0
小計	193,171	小計	75,633
		事業費	
		消耗品費	2,964
		通信発送費	35,156
		謝金	66,222
		会場費	11,930
		旅費交通費	96,677
		接待交際費	5,500
		会議費	7,000
		賃借料	0
		印刷費	40,000
		手数料	440
		小計	265,889
収入合計	341,633	支出合計	341,522
		今年度剰余金	111
合計	341,633	合計	341,633

2020年4月20日

一般社団法人日本音響家協会北陸支部
支部長 山本広志 殿

一般社団法人日本音響家協会北陸支部
監査 鹿野浩司



監査報告書

定款施行細則第59条の規定に準用し、北陸支部の2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）の事業報告及び決算報告を監査しましたので以下の通り報告します。

1 監査の方法

2019年度は、定例運営委員会の会議議事録、各事業の計画書、事業報告書等の書類の閲覧、ならびに支部発行の「小音響かわらばん」の閲覧、および財務状況に調査のため会計帳簿、入金明細伝票および証拠書類等を精査し、業務の執行状況および財務の状況について監査いたしました。

2 事業報告に関する監査

定時支部社員総会議案書の「事業報告」を監査しましたので、報告いたします。

- (1) 事業報告および会計報告は、各事業の執行が適正に報告されていると認めます。
- (2) 運営委員の職務の執行に関し、不正な行為または法令や定款に違反する事実はないものと認めます。

3 各種事業の業務執行に関する監査

(1) 会議の運営

ア. 定時支部社員総会について

総会の招集手続きは、概ね開催日1カ月前に支部会員全員に往復はがきにて、議題、必要事項、委任方法を明記して告知し、返信はがきによる出欠の確認および委任状の提出等で議決行使を保障しており、会議における進行、採決の手続きについて適則に運営していることを認めます。

イ. 運営委員会について

運営委員会は、隔月定期的に金沢市民芸術村会議室で開催されており、出席率8割以上である。議題も事前に告知され、会議録も整理されている。事業企画にあたっても運営委員の意見が十分に配慮され、民主的に運営されていると認めます。

(2) 北陸支部事業の実施状況と評価

2019年度の事業実施状況については、事業計画に基づき、運営委員会で承認された各事業を担当する運営委員で実行委員会を組織し、責任を持って執行していること、また計画書および報告書が適切に記載されていることを認めます。

ア. 第1回音響セミナー

「小ライブコンサートのSRテクニックと小型スピーカーの聴き比べ」
5月15日（水） 金沢市民芸術村 パフォーマンススクエア

講師に東日本支部副支部長の奥山竜太氏を迎え、1部はSRの基本的な考え方。2部は3名の音楽ユニットLife in Mafia Familyの実際の演奏に対するSRテクニックと各社小型スピーカーの聞き比べを行い、実践的なセミナーとなりました。

また、支部社員総会に併せて実施しており総会に参加する会員に参加しやすい方法と考えられます。総会と同時開催は、今後も継続していくべきだと思います。

イ、 第2回音響セミナー

サウンドクリエイタ養成セミナー「ジャズ音響研究会・北陸版」

12月5日(木) 金沢市民芸術村 パフォーマンススクエア

協会本部の主催事業の「ジャズ音響研究会」。講師に塩田哲嗣氏(ベーシスト)、新谷美樹夫氏(金沢ジャズストリート・プロデューサー)、浅原 勇治氏(ジャズ音響選任講師)と八坂賢二郎氏(協会会長)を迎え、1部は「ビッグバンドの音の組み立て方」、2部は、フルートをメインとしたジャズユニット「福井直秀カルテット」の実際の演奏を通して、モニターの音量やバランスなど確認しながらの内容の充実したセミナーでした。

ウ、 第3回音響セミナー

みくに未来ホールを訪ねて 「最新の新築ホールの建築音響と舞台音響の施工例」

2020年2月3日(月) 坂井しみくに未来ホール

「北陸のホールを訪ねて」シリーズとして今回は福井県。

2017年11月に竣工オープンしたみくに未来ホール。この建築音響を担当したのは、小音響かわらばんの広告協賛をいただいている浪花千葉音響企画(有)です。講師に浪花克治氏、千葉朝子氏を迎えて、建築音響の考え方やその重要性が理解出来ました。ヤマハサウンドシステム(株)の川島名古屋所長から、音響設備の解説がありました。

(3) 小音響かわらばんの発行 115号~119号

内容も会員相互の情報交換の場として定着し、またセミナー報告もあり参加できない会員にも情報が提供されています。経費も各社の協賛金以内に収まっており、支部の財政に負担をかけていないことは高く評価できます。ただし発行日が遅れがちとなり今年度は5回発行となってしまいました。その要因は編集担当の負担が大きいのではないでしょうか。編集、発行作業の分担化の検討をお願いします。

4 決算報告の監査

2019年度の北陸支部会計決算について定款施行細則第8条の基づき、監査しましたので報告します。入出金伝票、会計帳簿、その他証拠書類を監査した結果、収入支出とも適正に処理されていることを認めます。

追記

今年度のセミナーは、テクニカルの内容のセミナーが多く会員のスキルアップに大きく貢献したのではないのでしょうか。魅力的な企画事業や支部の活動が見える運営を行い、協会の良さをPRすることが大切です。また、会員の増加も視野に入れながら、今後の努力に期待いたします。

以上

(別表-2)

至 2021年3月31日		2020 年度予算書		北陸支部	
				(単位 円)	
収入の部		支出の部			
科目	金額	科目	金額		
一般収入		一般管理費			
運営補助費	147,843	消耗品費	1,000		
前年度繰越金	111	通信発送費	10,000		
雑収入	0	旅費交通費	48,000		
小計	147,954	接待交際費	0		
事業収入		会議費	20,000		
受講料	10,000	雑誌出版費	0		
参加費		新聞図書費	0		
寄付金・助成金		支払手数料	1,000		
協賛・協力金	143,000	租税公課	2,100		
企画制作料		借入金返済	0		
短期借入金		備品費(消耗品)	0		
雑収入		雑費	0		
小計	153,000	小計	82,100		
		事業費			
		消耗品費	5,854		
		通信発送費	50,000		
		謝金	20,000		
		会場費	15,000		
		旅費交通費	35,000		
		接待交際費	10,000		
		会議費	27,000		
		賃借料	0		
		印刷費	56,000		
		雑費	0		
		小計	218,854		
収入合計	300,954	支出合計	300,954		
合計	300,954	合計	300,954		